

各 位

会 社 名 株 式 会 社 イ ン ソ ー ス  
代表者名 代表取締役 執行役員社長 舟橋 孝之  
(コード番号 : 6200 東証プライム)

**データの民主化を加速！「AI 活用基盤構築支援」を提供開始**  
～企業内 AI 活用推進を、ルール整備や教育まで一貫支援【生成 AI シリーズ6】

「働くを楽しくする」サービスを提供する株式会社インソース（東京本部：東京都荒川区、代表取締役執行役員社長：舟橋孝之、証券コード：6200、以下「当社」）は、生成 AI を業務で安全かつ効果的に活用するための新サービス「AI 活用基盤構築支援サービス」（以下「本サービス」）の提供を開始いたしますので、お知らせします。

AI の進化により、文書作成・顧客対応・分析など、多くの業務で AI 活用の可能性が広がっています。一方で、「どのように社内データを安全に AI 活用するのか」「社員が効果的に AI を使いこなすにはどうすればよいか」といった課題を抱える企業が少なくありません。

当社はこれまで、社内でクラウド型データ基盤（Snowflake、BigQuery 等）と、複数の生成 AI サービス（Azure OpenAI Service、Amazon Bedrock、Anthropic Claude 等）を活用し、教育研修や業務改善を支える独自の AI 基盤を構築・運用してまいりました。社内実践の知見を活かした本サービスの提供により、「教育×技術」の両面からお客様の AI 活用を支援し、「データの民主化」の実現を目指します。

＜概要＞

名称	<b>AI 活用基盤構築支援サービス</b> <a href="https://www.insource.co.jp/new-service-lineup/ai-platform-support.html">https://www.insource.co.jp/new-service-lineup/ai-platform-support.html</a>
主な特長	<ol style="list-style-type: none"><li><b>データウェアハウス構築を支援</b> AWS、Azure、Google Cloud Platformなどの主要クラウド基盤に対応し、企業内の各システムやクラウドに点在するデータを収集・統合します。 データの形式統一、ETL 設計、品質管理など、AI が学習・参照しやすい環境を整備し、AI 分析や意思決定支援の基盤となるデータの土台づくりを支援します。</li><li><b>企業の情報セキュリティポリシーに即した、安全な AI 連携・運用設計</b> 構築したデータ基盤を、Azure OpenAI Service や Amazon Bedrock、Anthropic Claude などの生成 AI サービスと連携させ、安全な AI 運用環境を設計します。 認証統合、権限別アクセス制御、操作ログ監査など、企業の情報セキュリティポリシーに即した形で導入できる点が特長です。AI の活用と統制を両立させ、安心して生成 AI を業務活用できる仕組みを構築します。</li><li><b>利用者向け教育・研修による現場定着支援</b> AI 基盤を導入しても、利用者のスキルが伴わなければ定着は難しいものです。 当社では、社員・管理者向けの生成 AI 活用研修を準備いたします。さらに、AI 活用ガイドライン策定や社内ルール整備も支援し、AI 活用を現場の文化として根づかせます。</li></ol>
想定される課題、お悩み	<ul style="list-style-type: none"><li>・社内データが各システムに散らばり、AI を活用できる形に整理されていない</li><li>・社内で生成 AI を使いたいが、情報漏えいリスクが心配で導入に踏み切れない</li><li>・生成 AI ツールは導入したが、社員が活用できず効果が感じられない</li></ul>
想定される活用場面	<ul style="list-style-type: none"><li>・社内規程、マニュアル、FAQ、過去の議事録などを AI に連携し、社員が「必要な情報をすぐに検索できる状態」を実現</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>商談メモや顧客商談履歴、提案書等をAIに連携することで「顧客ごとの最適な提案内容・話法」の生成を支援</li> <li>事業データ、業績推移、外部レポート等を統合し、AIが分析・示唆を提示</li> </ul>
業務イメージ	<p><b>&lt;AIエージェント(※)と連携させた場合&gt;</b></p> <p>The diagram illustrates the transition from traditional manual work to AI-driven work. On the left, under 'これまでの仕事' (Traditional Work), a person icon is connected to boxes labeled 'メモ' (Memo), '経験' (Experience), '暗黙知' (Implicit Knowledge), '数値' (Values), and 'マニュアル' (Manual). These lead to '作業' (Work) and finally 'アウトプット' (Output). An arrow points to the right, leading to '生成AIを用いたこれからの仕事' (Work using generated AI). This section shows an 'AIエージェント' (AI Agent) box containing '作業指示' (Work Instructions) leading to '生成AIで高速処理' (High-speed processing by generated AI), which then leads to 'アウトプット' (Output). A '連携' (Integration) arrow connects the AI Agent to a '生成AI活用基盤' (Generated AI Utilization Foundation) box, which contains 'メモ' (Memo), '経験' (Experience), '暗黙知' (Implicit Knowledge), '数値' (Values), and 'マニュアル' (Manual). This foundation is labeled '一元管理されたデータ' (Centralized managed data). A note at the bottom states 'プロセスと質の標準化' (Standardization of process and quality).</p>
提供価格	¥3,000,000 (税込) ~ ※要件に応じて個別お見積もり
提供開始日	2026年1月 (予定)
お問合せ先	当社営業担当、または当社HPよりお問合せください <a href="https://secure.insource.co.jp/contact/inquiry/?ctg=s99">https://secure.insource.co.jp/contact/inquiry/?ctg=s99</a>

※人間の介入なしに自ら状況を理解し、計画を立てて実行する自律的なソフトウェアシステム

当社は今後も、社会のニーズに応じたサービスをいち早く提供してまいります。

以上

【お問合せ先】株式会社インソース <https://www.insource.co.jp/index.html>

(取材・広報に関して)	社長室(井上・下地)	TEL: 03-5577-2283
(サービス内容に関して)	デジタルソリューション事業部 (山中)	TEL: 028-614-8330